

葛飾区

緑化推進協力員だより

第41号



2019年3月 葛飾区緑化推進協力員会

協力 葛飾区環境部環境課緑化推進係

表 紙

平成30年10月26日（金）に実施された施設見学会で、東京都農林総合研究センター江戸川分場へ行きました。園芸病害虫や植物の品種改良の説明を聞いたり、センター内での植物育成の様子などを見て、充実した見学会となりました。

葛飾区緑化推進協力員は、葛飾区緑の保護と育成に関する条例に基づき葛飾区長から委嘱された、緑の保護と育成に関する区の施策に協力し、緑に関する知識と熱意を持って自主的な地域活動を積極的に推進していく区民のボランティアです。

緑化推進協力員会全体での活動、区内を4つのブロックに分け、それぞれの地域で行うブロック活動、地域における個人での活動など、緑化に関する様々な普及啓発や活動を行っています。

この「緑化推進協力員だより」では、緑化推進協力員の日頃の活動や、緑化について感じたこと・考えたことなどをまとめたもので、年に2回発行しています。

目 次

	題 名	ブロック	氏 名	ページ
1	活動記録（後期）	第1ブロック		1
2		第2ブロック		3
3		第3ブロック		4
4		第4ブロック		5
5	緑化推進協力員活動場所マップ			6
6	日頃の緑化推進協力員活動の報告	第1ブロック	馬 木 純 二	7
7	平成 30 年度施設見学会のレポート	第1ブロック	佐々木 定 治	8
8	花との付き合い15年	第1ブロック	引 地 詔 子	10
9	平成最後の新年一般参賀	第2ブロック	五十嵐 美 鈴	10
10	春一番の贈り物	第2ブロック	近 藤 文 子	12
11	安全な食を未来を育むアーバンファーム ング（都会の農園）	第3ブロック	瀧 澤 照 子	14
12	緑と水の市民カレッジに参加して	第3ブロック	中 村 久 恵	15
13	編集後記		編 集 委 員	16



第1ブロック活動記録（平成30年10月1日から平成31年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
10月 4日	フロリス通り花壇	花壇整備	除草・花がらつみ
7日	柴又街道	花壇整備	清掃・草刈り
10 ¹¹ 日	幕張メッセ	フラワーメリーゴーラ ンド協議会	国際フラワー&プランツEXPO参加
11日	区内公立中学校	校庭の自然観察	樹木を中心に。講師として
13日	東金町中学校農園	半田小学校	サツマイモの収穫 100名
14 ¹⁵ 日	金町駅前	花壇整備	花の撤去・植え込み ビオラ、ノースポール、マラコイデス
16日	柴又街道	花壇整備	花壇清掃
19日	フロリス通り花壇	花壇整備	除草
20日	新柴又北口駅前	花壇整備	植え替え
20日	柴又街道	花壇整備	植え替え ビオラなど
20 ²⁸ 日	日比谷公園	フラワーメリーゴーラ ンド協議会	日比谷ガーデニングショー参加
25日	新小岩駅周辺		花いっぱいレポーター活動
27日	東金町中学校	芋畑整備	芋ほり後の整地
31日	区内私立保育園	同保育園の園庭	除草
11月 1日	屋上緑化見本園	園芸教室	パンジー・ビオラのハンギングバスケット 受講者20名
2日	屋上緑化見本園	ガーデンプロジェクト 12活動	花壇植え替え準備（堆肥漉き込み）
3日	葛美中学校農園		サツマイモ収穫
4日	にいじゅくプレイ パーク	花苗の植替え	なでしこ・ビオラ・ノースポール
4日	柴又街道	花壇整備	清掃
9日	屋上緑化見本園	ガーデンプロジェクト 12活動	花壇植え替え
10日	フロリス通り花壇	花壇整備	植え替え
12日	水元スポーツセン ター公園	花壇整備	花の植え替え
15 ¹⁶ 日	金町つつみ集い交 流館	花壇整備	ハンギングバスケット 10種類の草花植え付け
17日	新柴又北口駅前	花壇整備	剪定・花がらつみ
17日	柴又街道	花壇整備	清掃
22日	新小岩駅周辺		花いっぱいレポーター活動
23日	清水農園		飯塚子ども会の大根収穫祭 葛飾区長 参加
25日	清水一郎氏宅	1ブロック講習会	ハンギングバスケットの作り方 参加者13名 終了後 懇親会

25日	屋上緑化見本園	花いっぱいのもちづくり推進協議会	サロン・ド・花いちにパンジー提供
12月 1日	新柴又北口駅前	花壇整備	花がらつみ
2日	フロリズ通り花壇	花壇整備	花がらつみ
8日	東金町中学校	芋畑整備	土の改良準備
11日	水元にじいろ保育園	大根収穫祭	参加者 20 名
15日	水元2丁目周辺		水元2丁目エリアの緑化状況調査
15日	柴又街道	花壇整備	清掃
15日	柴又7丁目公園	花壇整備	清掃
16日	新柴又北口駅前	花壇整備	花がらつみ
22日	にいじゅくプレイパーク	花壇整備	球根の植込み チューリップ
23日	葛美中学校		門松づくり
27日	水元いりや公園	冬桜調査	公園の冬桜の撮影調査
30日	新柴又北口駅前	花壇整備	花がらつみ
31日	フロリズ通り花壇	花壇整備	除草・水やり・花がらつみ
1月 3日	フロリズ通り花壇	花壇整備	花がらつみ
5日	水元公園	公園の緑化観察	自己研修
9~19日	新小岩駅周辺		花いっぱいレポーター活動
25日	水元公園	公園の緑化観察	自己研修
26日	立石駅周辺		花いっぱいレポーター活動
2月 2日	フロリズ通り花壇	花壇整備	除草・花がらつみ
4日	フロリズ通り花壇	花壇整備	花がらつみ
8日	水元3丁目周辺		水元3丁目エリアの緑化状況調査
13日	フロリズ通り花壇	花壇整備	土搬入のため花撤去作業
17日	柴又街道	花壇整備	清掃
18日	フロリズ通り花壇	花壇整備	盛土の後の花の植え替え
23日	東金町中学校	芋畑整備	畑の土作り
3月 9日	フロリズ通り花壇	花壇整備	植え替え予定
16日	新柴又北口駅前	花壇整備	植え替え予定
ブロック当番	屋上緑化見本園	花壇の維持管理	花壇の水遣り・管理等（通年）

※随時作業（除草・水やり） = にいじゅくプレイパーク・わかば公園

※週2回 水やり・管理 = 水元スポーツセンター公園

第2ブロック活動記録（平成30年10月1日から平成31年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
10月 1日	白鳥四丁目公園花壇	台風の後の整理	折れた枝や飛んで来た葉の掃除をする 1名で実施
3日	屋上緑化見本園	園芸教室	ゴーヤーを育てた土のリサイクル、土の基本 受講者 20名
8日	白鳥四丁目公園花壇	ひまわり処分	種を収穫し片付けをする 1名で実施
11月 5日	白鳥四丁目公園花壇	花壇管理	公園課より配布のマルチコーレ・ピオラ植付。 整地・肥料を施し植付 3名参加
15日	白鳥四丁目公園花壇	緑の募金より配布の球根植付	スイセン・チューリップの植付 1名で実施
12月 8日	白鳥四丁目公園花壇	亀有花風船で増やした（さし芽）白妙菊植付	亀有駅北口ロータリーの白妙菊を間引きしたのを頂いて植え付ける（10株） 2名参加
27日	白鳥四丁目公園花壇	大そうじと施肥	マルチコーレ・チューリップ・ピオラ e t c 施肥とそうじ（チューリップの囲いをする） 2名参加
1月 25日	白鳥四丁目公園花壇	天地返し	子ども達が遊んで土を踏み固めている所があり、耕す 2名参加
2月 15日	白鳥四丁目公園花壇	アイビー植え付け	草が生え易い所にアイビーを移植し植付 増やして小分け予定 2名参加
18日	白鳥四丁目公園花壇	マーガレット植付	亀有花風船の会 北口プランターのマーガレットが弱ってきているので、白鳥花壇に植付ける（7株） 2名参加
ブロック当番	屋上緑化見本園	花壇の維持管理	花壇の水遣り・管理等（通年）

※その他の定期的活動

- ・毎週月曜日 朝 半田委員が清掃、整地、花の手入れ管理を実施
- ・磯貝委員が水やり等定期的に管理
- ・その他近藤ブロック長を中心に管理

第3ブロック活動記録（平成30年10月1日から平成31年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
10月 2日	屋上緑化見本園	秋の園芸教室	色々な挿し芽・挿し木のやり方 受講者19名
11月 2日	屋上緑化見本園	ガーデンプロジェクト12活動	花苗植替え準備
9日	屋上緑化見本園	ガーデンプロジェクト12活動	花苗植え替え
10日	渋江公園	渋江公園花壇管理	花苗の植え替え
22日	屋上見本園 他	渡辺先生にアドバイスをいただく会	見本園花壇の経過報告、渡辺先生への質疑 応答など
1月 10日	屋上見本園 他	ガーデンプロジェクト12会議	花壇管理マニュアルの作成について、渡辺 先生の講義についてなど
2月 7日	屋上見本園 他	ガーデンプロジェクト12会議	花壇管理マニュアルの作成について、渡辺 先生の講義について 5月植え替えのデザ インについて
3月 7日	屋上見本園 他	ガーデンプロジェクト12会議	5月植え替えのデザインについて 等
通年・毎月第1土	渋江公園	渋江公園花壇管理	花がら摘み、水やり、切り戻しなど
ブロック当番	屋上緑化見本園	花壇維持管理	花壇の水遣り、管理等（通年）

◎平成30年度後期活動を終えて

① ガーデンプロジェクト12は第3ブロックからは2名参加、会議数は8回を消化した。

特に花壇管理マニュアルについては必須事項であることから作成に着手した。マニュアル配布が遅くなっていることは反省事項です。夏花壇については事前配布に間に合わせるよう準備中です。

② 渋江公園の花壇管理の主な作業は11月10日に花壇の植え替えを実施した。月初めの土曜日、さらに必要に応じて水やりと花がら摘みを実施した。

③ 秋の園芸教室は10月2日に実施した。19名の参加がありました。

挿し芽及び挿し木の成功率の高い好条件を提示し、教室では直接プランターに挿し芽をする方法をペチュニアを使用して実践していただきました。

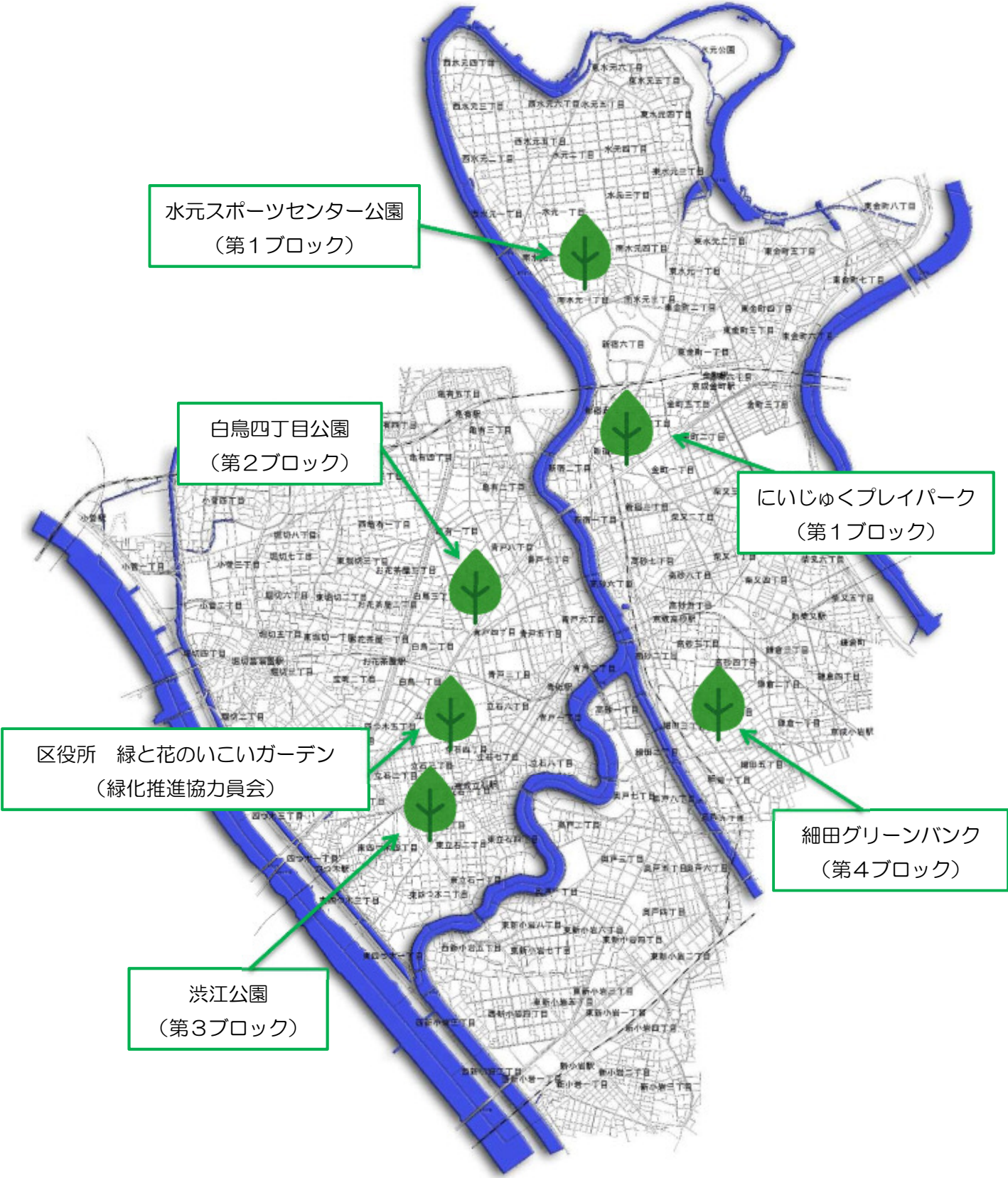


写真はカリブラコアの挿し芽

第4ブロック活動記録（平成30年10月1日から平成31年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
10月 9日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
13日	細田グリーンバンク	樹木フェア	苗木の配布 樹木害虫相談 その他
15日	奥戸農園	園芸教室準備	芋づる採取
23日	屋上緑化見本園	園芸教室	芋づるでクリスマスリースを作ろう！ 参加者 18名
11月 13日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇植え替え
12月 11日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
1月 8日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
2月 12日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ、一部植付作業
3月 12日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
通年・第2火	細田グリーンバンク	月例作業	植付け等、花壇全般管理
ブロック当番	屋上緑化見本園	花壇維持管理	花壇の水遣り、管理等（通年）

緑化推進協力員 活動場所マップ



.....*.*.*.*.*.....

日頃の緑化推進協力員活動の報告

1ブロック 馬木 純二

私は、昨年四月緑化推進協力員になる前から、北野小学校学校地域応援団の一員として、金町公園花壇の世話をしていました。地域応援団の主な活動は、公園の安全を守り子供たちが安心して遊べる空間づくりです。そのために、誰かがいつも見ていますよということで公園に出かけて居る事が大切です。その活動としては、公園のトイレの壁のペイントや花壇の管理が大切になっています。

花壇は1年を大きく分けて2シーズンのアレンジを基本としています。5月と11月に千葉大の渡辺先生を招き「きたの楽習会」を開き、半期毎の見栄えのする花の植付けとレイアウトの指導を仰ぎます。そして、皆で植付けます。ここ数年は北野小学校の3年生も参加してくれるようになりました。いつも活気ある活動をしてきています。植付けた直後は整然とした花壇で、とても綺麗です。

さて、私の仕事は、その植付けや除草の様子を区の「花いっぱいまちづくり」ホームページに投稿したり、毎月第3日曜の朝、実施している「定例花壇整備」のときに何をすべきかを計画する事です。水やりも率先してやっています。

公園を訪れる方は花に興味をもたれ楽しんでいただければ結構です。花壇を創る人は、花やデザインやレイアウト、及び雑草に興味を持ち日常生活の身近に、花を育てるという意識を常に持ってほしいものだといつも思っています。そんな何気ない日常の中に、私のしている事が、一助となれば幸いです。

今後は、小学生のために少し幅を広げ、金町公園に生息する昆虫や小鳥の情報も集めようと思っています。



きたの楽習会の様子

.....*.*.*.*.*.....

葛飾区緑化推進協力員だより「第41号」に寄せる 平成30年度後期の活動 第1ブロック 佐々木定治 平成30年度施設見学会のレポート



1. 東京都農林総合研究センター講堂にて、講師としての研究員からご指導を受けました。



2. 会長挨拶の後、研究説明をいただき、その研究内容の実際を見学しました。



3. 展示温室で多くの熱帯植物に関する説明を受けました。

平成30年度緑化推進協力員のための施設見学会が、10月26日（金）、東京都農林総合研究センター江戸川分場で開催されました。このセンターは、江戸川区鹿骨1-15-22に位置します。この日は38名の緑化推進協力員が参加し、研究員に質問もする程の熱心な見学会になりました。今号の41号では、その折の様子をレポートしましたので、報告をします。（紙面に限りがありますのでほんの一部の報告とします。）



4. 研究員の懇切丁寧なる説明に聞き入り、緑化推進に対する意識が高揚しました。



5. バラのさし芽と前東京オリンピック時の日本の花「菊」は、これと同種だそうです。



- ① センターの設立発祥は、1900年（明治33年）です。
- ② 東京都における農林業、及び食品産業の技術開発を担う公的試験研究機関です。
- ③ 生産性の向上や新商品開発等地域の実情に即した新たな技術開発、及び都民の食と生活環境の技術開発を重点的に推進しています。
- ④ 専門研究分野は、研究企画室・園芸技術科・生産環境科・畜産技術科・緑化森林科・食品技術センターが有り関係諸機関との連携を深め、生産性の向上にも寄与しています。
- ⑤ 管内は足立・葛飾・江戸川です。（特産のコマツナ・エダマメ・鉢花・切り花は都内トップクラス）
- ⑥ この見学会で学んだことは、緑化推進のための基礎として、自分の資質を高めていく大きな力になると確信しました。



.....*.*.*.*.....

花との付き合い15年

1ブロック 引地 詔子

仕事から離れ、これからは花を楽しもうと、花壇の手入れの手伝いをするボランティアに参加するようになりました。緑化推進協力員でも多くの方々と知り合い、とっても楽しい毎日です。

いろいろな先生方の養成講座に参加して教えていただき勉強になっていますが、まだまだ知りたいことがありますので、機会があったら参加したいです。

花を育てるにあたり、平成30年の夏のように、猛暑以上に酷暑なんて初めて聞いて、外に出ないように注意がありましたが、花には水が必要です。緑化の方々が水当番をしっかりとやっていただいたので、花たちは元気に夏を乗り越えてくれ、びっくりしました。みなさんの力はすごいですね。

花壇の手入れや環境に合う苗選び、植えかえる時期、土の手入れ、植え付けの間隔も大事で、それには花の特徴を知ること、大株になるもの、上に伸びるのや、横にどんどん広がるもの、病気や害虫対策も、花がら摘みや剪定も大事。これからも花と友達でいたいと思います。それには元気でいなければ。頭の方が心配。花の名前が出てこなくて、時間がかかるように。困ったものです。



.....*.*.*.*.....



平成最後の新年一般参賀

2ブロック 五十嵐 美鈴

私は1月2日、平成最後の新年一般参賀に行ってきた。午前11時過ぎに地下鉄千代田線・二重橋前駅に着くと、駅は人でいっぱい。トイレも行列が出来ていました。地上に出ると、警察官の「一般参賀の方は走らずにゆっくりと歩いてください！」という声。松の並木のあたりで行列の流れは止まり、駐車場には所狭しと観光バスが止まっていて、「観光客の人も自分のバスが分からないのでは」と、心配するほどでした。途中、ボーイスカウトの方から運良く日の丸の旗をいただき、やっとセキュリティーゲートの近くまで

進むと、警察官の方から「手荷物のある方は右側に、ない方は左側に並んでください。バッグは開けて、洋服は前をひらいてお待ちください。」との指示。昨年、桜ともみじの一般公開でセキュリティーチェックは経験していましたが、今回はそれ以上に厳しかったです。

セキュリティーゲートを出ると、行列は全く動かなくなり止まったままで、私の前列の2人の女性は、新潟から早朝、観光バスで来て2時30分に集合することになっていると不安そう。最終回の2時20分になっても行列は動かず、諦めムードになった。周りの人が「電話して集合時間を延ばしてもらったら。」と声をかけたり、「回数を増やして下さることを念じましょう。」と皆で励ましあっていると、3時過ぎ、突然行列が動きだし、皇居の中に入ることが出来ました。天皇陛下、皇后陛下、皇族の方々がテラスにお立ちになられると、参賀者がいっせいにスマートフォンやカメラを向け、中には脚立の上に立つ人もいたので、お声だけで、まったく何も見えませんでした。

終わりの放送が流れ、出口に移動し始めると、再びモニターに映像が映り、行列が急にテラスの方に戻りはじめ、もしかしたらと皆さん静かに待っていると、「天皇陛下のお言葉があります。」と放送があり、今度はお顔も拝見することが出来ました。諦めないで5時間近く待ったかいがあり、今年が良い年になると思いました。

1月3日の読売新聞の写真を見ると、まるでアリの行列のようでした。記事には「4月末の退位を控える天皇陛下が在位中に参賀に応えられるのは最後で、平成最多だった昨年を2万8,000人上回る約15万4,800人が訪れた。当初5回の予定だったが、午後1時50分の5回目までに宮殿の庭に入れない参賀者が続出。両陛下の意向で急きょ2回増やして計7回行われた」と書いてありました。

皇居

現在の皇居は、江戸時代に江戸幕府の居城であったものが、明治元年に皇居となったものです。明治21年から昭和23年までは、「宮城」という名称で呼ばれていたが、昭和23年以降は「皇居」と呼ばれている。皇居には附属庭園として、皇居東御苑がある。

皇居東御苑

皇居内の旧江戸城の本丸、二の丸、三の丸の一部があった場所は、現在は皇居附属庭園として整備され、皇居東御苑と名付けられている。昭和43年に完成、面積21万平方メートルで、一般にも公開されている。旧本丸地区には、江戸城の中心だった本丸及び天守閣跡があり、その東に皇太后陛下の御還暦を記念して建てられた桃華楽堂（昭和41年落成）や雅楽を保存継承している楽部などの建物があり、旧二の丸地区には三代将軍徳川家光の命により、小堀遠州が造ったとされる庭園を復元した二の丸庭園がある。全国47都道府県の木が植えられた「都道府県の木」コーナーのほか、回遊式の庭園では、春から初夏にかけてツツジやサツキ、ハナショウブなどの花が咲く。

・皇居東御苑の一般公開

月・金曜日を除く毎日（月・金が祝日に当たる時は公開）

9時～16時30分（入園は16時まで） 11月～2月は閉園時間が30分早まる

入場は大手門、平川門、北桔梗門から

入園無料

ただし行事の実施、その他のやむを得ない理由のため支障のある日、天皇誕生日、及び年末年始（12月28日～1月3日）は公開されない。

三の丸尚蔵館（平成4年9月皇居東御苑内に設立された）

収蔵作品は古代から近代に至るまでの各時代を代表する貴重な絵画、書、彫刻、工芸などを中心に海外諸国の品々も含まれ、その種類は多岐にわたる。

三の丸尚蔵館の建物は、皇室にゆかりのある貴重な作品を恒久的に伝えていくため、温湿度管理のできる広い収蔵庫を備えており、展示室では行事等に支障のない限り収蔵作品の中からテーマを設定し、期間ごとに無料で一般公開されている。

「桜」と「もみじ」の一般公開は平日でしたらゆったりできますし、珍しい木もあり、美しくとても感動しました。皆さまも是非一度、お出かけになって下さい！

※参考資料

- ・読売新聞 平成31年1月3日 朝刊
- ・社団法人時事画報社 フォト<別冊>平成11年11月5日発行



.....*.*.*.*.....

。:*:.。 春一番の贈り物 。:*:.。

2ブロック 近藤 文子

ほんの少し俳句を嗜んでいるが、冬から春へ春から夏へと、四季の季語を探ると、なるほど沢山ある。時には一句詠むのに随分時間を頼杖ついたまま過ごす事がある。

日本語はとても美しく、凍っていた大地が、春になりとけゆるむ事を「凍^{いて}ゆるむ」、「凍解くる」^{いてどけ}、「降り積んでいた雪が春を迎え、ところどころ解けて消えそうな隙間を」^{ゆきま}「雪間」、「雪のひま」、とも表現する。

四季折々の季語を「ホトトギス新歳時記」を繰りながら、また、新しい春を迎えているのである。あつという間の季節の流れを追いつ追われつ、何とも忙しいことか。

しかし、毎月一回の句会の「兼題 1 句」と「詠みこみ 1 句」、「雑詠 5 句」には、真剣に？悪戦苦闘。松尾芭蕉、正岡子規、、柔らか頭になりたいものであるが、わずかながら一句のために自然を見つめる時間を持つことが出来るようになったのも確かである。

庭の小さな芽吹きや、野草、風の流れや温かさ、花鳥風月の動揺に耳を澄ませば、その 7 句のために費やす時間は尊いものだと感じるようになった。

「協力員だより」も 1 ページ程の会員の皆様の「詩」や一句を掲載。見つめた自然の中のそれぞれの心の風景を残していきたいものである。

さて、昨年 11 月～12 月に植え付けたチューリップもツンっと芽を出し始めた。新潟県五泉市から寄贈された球根が各地区で植え付けられ春を待っている。植付指導を行い皆さんと植えたチューリップ。

「亀有花風船の会」「道上小学校」「南綾瀬小学校」「一之台中学校」「亀有学び交流館」「本田消防署奥戸出張所」の芽吹きも順調である。

このチューリップが咲く頃には、小学校に入学すると必ずといっていいほど歌った「チューリップの唄」、皆、幼い自分を思い出すだろう。

「亀有花風船の会」では、昨年 11 月に新設延長された花壇に沢山の五泉市のチューリップを植え付けた。会員はもとより大勢の方々と共に植えたチューリップの球根が 3 月下旬～4 月上旬にかけ、花開くのをととても楽しみにしている。

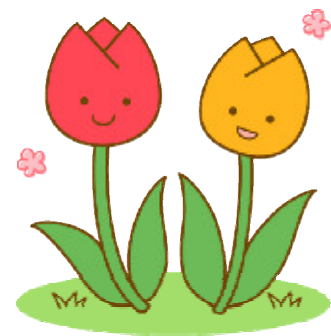
来たる 4 月 4 日（木）には、新潟県五泉市の伊藤市長をお迎えし、「五泉市チューリップお披露目会」を開催することとなった。準備に追われる毎日ではあるが、年毎に寄贈して下さる球根が増え、葛飾区でも、春の一大イベントとなりつつあり、とても励みになる。

ご尽力いただいている「葛飾の川をきれいにする会」会長、齊藤さまにも感謝するところでもあり、ほんの僅かな 10 日余りの色どりのチューリップの花の命を愛でたい。そして、花咲く球根に育てて頂いた園芸農家の皆様にも、心より敬意と感謝を言いたい。

ここで一句

とりどりの	命の色や	ちゅうりっぷ
ランドセル	踊る足元	ちゅうりっぷ
右左	揺れて歌って	ちゅうりっぷ
背くらべ	結んで開いて	ちゅうりっぷ
虐待の	なき事祈る	ちゅうりっぷ

文子



お粗末様でした。

.....*.*.*.*.*.....

安全な食を未来を育むアーバンファーム（都会の農園）

3ブロック 瀧澤 照子

アーバンファームが世界的に広がりを見せています。どこでも始められる種まき、あなたもスタートしませんか。

アーバンファームは、世界各地（ロンドン・ニューヨークなど）に比べて、日本は遅れています。ロンドンでは夏季オリンピック大会（2012年7月31日～8月1日、204の国と地域が参加）にイギリス産の食材を提供するため、2008年～2012年迄に2012ヶ所の農園を作るキャピタル・グロース（capital・Growth）という取り組みが行われました。現在も2,700ヶ所の農園で、年間約80トンも食糧が生産されています。

では、なぜ世界中で都市農園に目が向けられているのでしょうか。都市によって事情は様々ですが、大きな理由のひとつは食の安全を守るためです。皆さんは東京都の食糧自給率をご存じですか。東京の自給率は1%です。日本全体でも38%、諸外国に比べてとても低い水準です。自然災害を受けやすい食糧のほとんどを輸入に頼るのは、非常に危険です。特に食べ物は農薬や肥料、人工的な種子（F1）を使う農業。添加物が多く含まれた加工品など、工業化されたフードシステムの中で健康を脅かす存在とも言えます。畑がなくてもビルの屋上や学校の校庭や空地などで、本物の種子（固定種）から野菜を育成すれば安全で栄養価の高い食材を手に入れることができます。

2050年までに、地球の人口は20億人以上増えて90億人を超えると予想され、そのうち70%が都市部に住むようになっていっているとされています。どれだけの人達が「リアルフード」にありつけるのでしょうか。

振り返れば去年は例年より寒さも暑さも厳しく、大雨の被害も深刻でした。台風のルートは毎年変わり、激しくなっています。

急激な気候変動は地球の警告。自然界は温暖化による様々な影響を受けています。地球からの警告に何ができるのでしょうか。

未来を作るのは現在を生きている私達です。これからを担う若人世代のため、地球に還元していきましょう。

※参考資料

農林水産省 ホームページ

エッセイ「ファーム」（雑誌「元気いっぱい」）



.....*.*.*.*.*.....

緑と水の市民カレッジに参加して

3ブロック 中村 久恵

第3ブロックは今回6名で、“日比谷ガーデニングショー”が開催されている日比谷公園を訪れました。

市民カレッジ会場では、川口のり子さん（ビオラで全国的に有名な方だそうです）の「私のパンジー・ビオラ物語 ～花を通じて宮崎の地域活性化活動を展開～」というお話があります。会場に入ると、小さなビオラの鉢がたくさん並んでいます。“ビオラリアン”と思われる方々の熱気が華やいだ雰囲気を作っています。

川口さんの講演は、“宮崎発のパンジー・ビオラに魅せられて全国に広める活動を”というもので、表題通り、ビオラ愛あふれるお話でした。ご苦労話も興味深く、可憐な花を作る楽しさ、情熱が強く感じられ、ビオラの花の形の多さに驚きました。かわいいうさぎの顔のビオラに見とれました。

また、ビオラリアンのお一人で、滋賀県米原市多和田にあるイングリッシュガーデン“ロザンベリー多和田”のオーナー・大澤恵理子さんと川口さんの対談も、植物愛にあふれる楽しいものでした。

花は作り手の想いで違う、の言葉が印象的でした。スライドを見ているうちに、大澤さんの手塩にかけていらっしゃるイングリッシュガーデン、その、そよ風が流れる様なガーデンを訪れたいと思いました。

秋晴れの公園のガーデニングショーは、大噴水を囲むようにライフスタイルガーデンが並び、人出も多くにぎやかです。お目当てのハンギングバスケットは、どれも美しく季節を表しており、作った方のテーマを想像しながらゆったりとみせてもらいました。すると、いつもお世話になっている千葉大学の渡辺先生と遭遇いたしました。昨日ハンギングバスケットの選考会があった由、さっそく優秀作品の前で記念撮影に加わっていただきました。葛飾区のコーナーでは藤井会長もお見えでした。

おまけとしては、近年箱根駅伝会場で見られなくなった（予選落ちのため）、東京農大の大根踊りを楽しませてもらい、都心のオアシスを味わった一日でした。

.....*.*.*.*.*.....





編集後記

葛飾区内でも2月9日未明から雪になり、冷え込みに目を覚ますほどの寒波に見舞われました。こんな時、いつも思うことは雪化粧の美しさの下で、寒さをものともせず、凜としている樹木に感動を覚えます。暮らしの中で人に寄り添い心豊かにしてくれている緑に頭が下がる思いと、感謝の念を抱かずにはられません。

1ブロック 佐々木 定治

.....*.*.*.*.....

昨年9月30日の台風24号のため、庭の杏の木とねずみもちの木がポキッと折れ、建物にも被害が.....。

夏は緑のおかげで冷房も使わず快適に過ごせましたが、今年は心配です。

「カーテンを 緑の色に 模様替え」

年号が変わる新しい時代が、明るく幸多い年になりますように！

2ブロック 五十嵐 美鈴

.....*.*.*.*.....

まだ先の事と思っているうち、気がつけば東京オリンピック、パラリンピックはそこまで。内外からのお客様は帝釈天など、区内は賑わうことと思われます。

区内を花と緑の溢れる町に。

一人ひとりがプランターの1つでも玄関前や出窓に置いて、美しい花と緑を眺めていただきましょう。

3ブロック 瀧澤 照子

.....*.*.*.*.....

永年楽しんできた白わびすけが昨秋枯死した。昭和32年に植え込んだ椿なので、やむをえないとは思っていたが、昨夏の酷暑と害虫の攻撃で余命がついたようにも感じた。5年前に同木の枝4、5本を挿木として使用、花もつきはじめたので、後継ぎには心配なかった。

4ブロック 荒井 幸雄